

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 17 日現在

機関番号：32631

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24330219

研究課題名(和文)「いのちの尊厳」教育と人権教育の実践における交差関係に関する国際比較研究

研究課題名(英文)The international comparative study to the intersectional practical relation between "Life-dignity" education and human rights education

研究代表者

増渕 幸男(MASUBUCHI, Yukio)

聖心女子大学・文学部・非常勤講師

研究者番号：40149076

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は人間の尊厳と人権との教育的関係を解明することにある。この課題を解明するために、わが国と関連の深い東アジアの国々の研究機関(首都師範大学、香港教育学院、国立台湾大学)の研究者たちとの共同研究体制を構築した。3年間にわたって共同研究を行い、研究協力者との議論、シンポジウム、講演会を開催してきた。そこでは共通の基盤に立って、「いのちの尊厳は人権と不可分離の関係にある」という定義を確認し、これを喫急の教育的責任であるとの一致をみた。そしてこの研究は今後も永続的に協力しながら追求されねばならないとの認識に至った。研究成果として報告書(397頁)を作成し、関係者に配布した。

研究成果の概要(英文)：A aim of this study is to analyze the educational relation between human dignity and human rights. In order to illuminate this problem, we could carry out our project in cooperation with institutes and researchers in East Asia (Capital Normal Univ. Beijing; The Hong Kong Institute of Education.; Life Education Center, National Taiwan Univ.). We have accomplished valuable workshop for three years, and effective discussions, symposium and lectures. Then on common ground we have recognized a definition "Life -dignity can't be seperated from human rights" as pressing educational responsibility. The study theme must be run after perpetually, we can firm to go into partnership with the above researchers. A report of production from this study (2012-14)was bound up(pp.397) and distributed to some participants.

研究分野：教育学

キーワード：いのちの尊厳教育 人権教育 人間的価値 共生と協働 持続可能社会 自殺と生命教育

1. 研究開始当初の背景

本研究は、日本の教育現場でいのちの尊厳を毀損する深刻な問題が多発していることに危機感と教育的責任の根拠を明らかにすることが急務であるとの考えから、これまで研究プロジェクトを立ち上げて研究してきた(平成17年度～18年度、平成19年度～21年度の科学研究費補助金による)ことを継続的に発展させるものである。

2. 研究の目的

これまでの研究から明らかになったことを踏まえて、グローバル化時代の教育問題としてのいのちの尊厳教育が人権教育といかなる関連性を有しているについて、東アジアの中国、香港、台湾での上記の研究課題に関する教育の実態を調査するために、歴史的文化的に深い関係にあるそれらの国々の研究者と研究討議及びシンポジウムを開催することによって、問題に関する共通理解と共同研究を推進することを目指した。

3. 研究の方法

研究分担者(5名)及び連携研究者(3名)を中心に研究課題に関する専門的領域からのアプローチを基礎に研究報告会を定期的に行い(インターネット含)また中国首都師範大学、香港教育学院、国立台湾大学の生命教育研究者との共同研究会において研究成果を提案しながら各国の問題状況を確認し、資料を収集することにした。また、国内においてもいのちの尊厳を学ぶ手がかりとして、S小学校、S高等学校、5大学での読み聞かせ研究授業とアンケート調査を実施、研究課題に関する理解度を解明することにした。

4. 研究成果

(1)「いのちの尊厳」教育に関する理解の仕方と内容は東アジアの諸地域と比較して、中国と香港、台湾での基本的スタンスは生命教育というカテゴリーで取り扱われていることがわかった。それを担っている教科は道徳と宗教であることも明らかとなり、日本での扱いとの類似点と相違点が明らかになった。とくに香港と台湾には生命教育の専門学会があり、組織的な体制が整備されていると知られた。この点は日本においても早急に対処すべき課題であると確認できた。

(2)「人権教育」に関する教育的対応は香港が最も真摯に取り組んでいることが知られた。香港では全小学校・中学校の教員向けの指導書『人権教育』が作成されており、香港教育学院のサポートを受けて校長クラスの指導者が積極的に学校への導入を図っていることもわかり、人権教育を固定した内容で編成しがちなわが国の内容と比較して、きわめて広範な取り組みがなされていると確認できた。

(3)香港には「全人生命教育学会」があり、

日本での全人教育の一環として生命教育を位置づけていることがわかった。教育学院を中心に香港市内の教員を対象にセミナー、講習会、研修会を定期的に開催しており、生命教育への活動的役割を研究機関が担っていることも理解できた。日本においても高等教育機関がより積極的に「いのちの尊厳」教育に関する講座、研修会を開催する企画があってもよいであろう。

(4)国際的視野からの研究が不可欠なグローバル化時代に、空間的には近くても精神的に遠く感じられる東アジア地域の研究機関との共同研究の道を開くことはまさに時代的使命である。歴史的文化的にも関連性の深い中国、台湾、韓国との共同研究体制の構築は今後の日本の学問的発展にとって軽視できないものである。その意味では本研究において構築してきた首都師範大学の児童生命・道徳教育センター及び国立台湾大学の生命教育研究育成センターとの研究協力体制は今後の研究発展にとって大きな意義をもつものである。

(5)「いのちの尊厳」教育の具体的な展開方法として小学校、高等学校、大学で実施した絵本(『きみのかわりはどこにもいない』いのちのことば社、徳永大訳)の読み聞かせと討論という研究授業では、日本人の児童生徒及び大学生のいのち観と共生社会のあり方についての考察を可能にすることが理解できた。つまり、いのちの尊厳、人権尊重の意識を育成するための教育方法として絵本の持つ有効性について、多様な発達段階を考慮しても大きな成果があると知られた。道徳の教科化が目指されている今日、絵本の取り込み方にも意義を見いだす契機となったことは確かである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計13件)

Satake, M., Kawata, M., McIysaght, A. and Makino, T.: Evolution of vertebrate tissues driven by differential modes of gene duplication. DNA Research. 19(4). 査読有, 2012, 305-316
DOI:10.1093/dnares/dss012

西平直、臨床の知・科学の知・書物の知
ブラインドウオークの体験から、日本仏教教育研究、査読有、第20号、2012、7-20

Wong, W. F., Kohu, K., Nakamura, A., Ebina, N., Kikuchi, T., Satake, M., Takai, T. and Nakata, K. Runx1 deficiency in CD4+ T cells causes fatal autoimmune inflammatory lung disease due to spontaneous hyperactivation of cells. The Journal of

Immunology. 188(11)、査読有 2012,5408-5420
DOI:10.4049/jimmunol.1102991

西平直、ブータンと「有り難い」感謝の心と畏敬の念とをつなぐもの、児童心理、査読無、No.946、2012,108-113

池田全之、絶対者の顕現と無限の生成 絶対的同一性の理解を巡るシェリングとヘーゲルの差異について、お茶の水女子大学『人文科学研究』、査読無、第9巻、2013、133-144

有馬知江美、子どもの感性を通じた「人権保育」の視座、白鷗大学教育学部論集、査読無、第7巻1号、2013,39-55

西平直、ケアと云わないケア ケア論が私たちに突き付けた問い、『ケア講座・ケアと人間』査読無、第二巻、2013,1-23

楊奕、「生命尊重」の提唱による道德教育の可能性 今日中国における生命教育の試み、同志社大学社会学部教育文化学研究室『教育文化』、査読無、第23号、2014,28-44

有馬知江美、美術鑑賞を通じた人権保育に関する一考察、白鷗大学教育学部論集、査読無、第8巻1号、2014,43-59

高橋洋一、模擬患者養成・参加型教育、鳥取大学医学部総合教育センター活動報告、査読無、24,25年度版、2014,52-67

池田全之、思想史を道具として教育の今を考えると これまでの報告者の事例として、三田教育学研究、査読無、第22号、2014,1-10

西平直、「ジェネレイショナル・ケア」の危機と「不生」のゼロポイント、思想、査読無、第694号、2014,2-12

増淵幸男、教育目的としての人格形成の問題 教育哲学の立場から、カトリック教育研究、査読有、第32号、2015,51-54

〔学会発表〕(計11件)

増淵幸男、人権教育の論理 その展開と課題、東北教育哲学教育史学会、2012.9.3.東北大学、宮城県仙台市

佐竹正延、生命科学から見た医工学 特に、研究者マインドについて、生体医工学フォーラム、2013.3.18.東北大学、宮城県仙台市

増淵幸男、試論生命科学興生命教育的関係、宗教教育興心霊教育中心学術講座(香港教育学院)、2013.3.1.香港市(中国)

西平直、無心は反倫理か 無心における

「他者」の問題、霊性研究フォーラム、2013.11.3.同志社大学、京都市

池田全之、なぜ善さを分かっているにもかかわらず実践できないのか 道德教育からみた1804年のフィヒテ、シェリング、シュレーゲル、日本フィヒテ協会、2013.11.24.お茶の水女子大学、東京都

増淵幸男、いのちを大切に教育を考える、日本カトリック教育学会、2013.8.30.星美学園短期大学、東京都

増淵幸男、教育目的としての人格形成の問題、日本カトリック教育学会、2014.9.7.鹿児島純心女子短期大学、鹿児島県鹿児島市

西平直、共生とアイデンティティ 折り合いをつけるということ、上智人間学会、2014.8.29.上智大学、東京都

池田全之、主観によるモノ構成の基礎づけの徹底から見えるもの、教育思想史学会、2014.10.11.慶應義塾大学、東京都

高橋洋一、模擬患者に対する「共感」をめぐって、次世代医療教育研究会、2014.11.29.鳥取大学、鳥取県鳥取市

古賀義、長崎県で少年・少女が起こした3件の殺人事件からいのちを考える、国立台湾大学生命教育研究育成センター、2015.1.9.台北市(台湾)

〔図書〕(計2件)

西平直、岩波書店、無心のダイナミズム、2014,240

増淵幸男・神門しのぶ、上智大学出版、聖アウグスティヌスの教育理論と実践、2014,340

6. 研究組織

(1) 研究代表者

増淵 幸男(Masubuchi Yukio)
聖心女子大学・文学部・非常勤講師
研究者番号：40149076

(2) 研究分担者

池田 全之(Ikeda Takeyuki)
お茶の水女子大学・文教育学部・教授
研究者番号：50212775

有馬 知江美(Arima Chiemi)
白鷗大学・教育学部・教授
研究者番号：80291855

楊 奕(Yang Yi)
同志社大学・社会学部・准教授

研究者番号：60580751

銀島 文 (Ginshima Fumi)
国立教育政策研究所・教育課程研究センター・研究員
研究者番号：30293327

高橋 洋一 (Takahashi Yoichi)
鳥取大学・医学部・助教
研究者番号：40594271

(3)連携研究者

古賀 義 (Koga Tadashi)
長崎国際大学・人間社会学部・教授
研究者番号：70123833

佐竹 正延 (Satake Masanobu)
東北大学・加齢医学研究所・教授
研究者番号：50178688
(平成26年度より研究協力者)

西平 直 (Nishihira Tadashi)
京都大学大学院・教育学研究科・教授
研究者番号：90228205

(4)研究協力者

佐竹 正延 (Satake Masanobu)

勞 凱声 (Lao Kaisheng)
首都師範大学・教育学院・教授

樊 秀麗 (Fan Xiuli)
首都師範大学・教育学院・教授

孟 繁華 (Fanhua Meng)
首都師範大学・教育科学学院・教授

宁 虹 (Ning Hong)
首都師範大学・教師教育研究センター・教授

王 乘豪 (Wong Ping Ho)
香港教育学院・宗教教育興心靈教育センター・教授

梁 恩榮 (Leung Yan Wing)
香港教育学院・教育政策興領導学系・副教授

鄭 德禮 (Cheng Tak Lai, Mic)
香港教育学院・宗教教育興心靈教育センター・教授

孫 效智 (Johannes Sun Hsiao-chih)
国立台湾大学・生命教育研宄育成センター・教授

蘇 玉焜 (Janet Su)
国立台湾大学・生命教育研宄育成センター・執行長

辻本 雅史 (Tsujimoto Masashi)
国立台湾大学・日本語文学系・教授